



2月の園だより



2020年 2月
園長 野田 弘之

主 題：認め合う

聖書のことば：「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。

すべての事に感謝しなさい。」

(テサロニケ5：16)

☆ ————— ☆ ————— ☆ ————— ☆

早いもので、今年ももう1か月が過ぎてしまいました。昔から「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われており、3学期はあっという間に過ぎていくようです。今年度も、残り2か月となりました。

子どもたちは、寒いながらも元気に登園し、園生活を頑張っている様子を見て、私も元気をたくさんもらっています。一方、厳しい寒さで体調を崩す子供もいるようですので、引き続きご家庭での健康管理（栄養、睡眠、運動、うがい手洗い等）に留意していただきますようお願いいたします。

さて、今回は「聖書」について、ご案内したいと思います。「聖書」はご存じの通り、キリスト教の聖典です。聖書には、「神さまが人間を救うためにしてくださったこと、その歴史」が書いてあります。聖書は、旧約聖書と新約聖書に分けられます。旧約聖書は、救い主イエス・キリストが生まれる以前のことが書いてあります。天地創造や人間の創造、原罪（キリスト教で、人間が生まれながらに負っているとされる罪）のこと、有名なノアの箱舟、エジプトからの脱出なども書かれています。

新約聖書には、救い主イエス・キリストが生まれてからのことが書かれています。神の子キリストがこの世に生まれたとき、ユダヤ人はローマ帝国に支配されていました。イエス様は、30年ほど家庭で生活し、最後の3年ほどを神の言葉を宣べ伝える宣教生活を送りました。イエス様自らが選んだ弟子の中で最も有名なのが、ペトロを頭とする12使徒です。イエス様は、この弟子たちを教えながら神のことを宣べ伝えました。最後には、すべての人間の罪のために十字架上で自身の命を捧げました。そして、3日後に復活されました。（教会で行われるミサは、この復活を記念として毎日世界中で行われています。）復活された後、イエス様は天に昇られました。その後、残された弟子たちに聖霊が降り、弟子たちはたちまち各国のことばを話し、教えを広めたと聖書に書いてあります。

聖書は、このようにカトリック教会やキリスト教を知ったり、信仰を深めたりするために、大切なものです。聖書は世界のベストセラーと言われています。これを機に、聖書に興味を持って頂けたら幸いです。

